

科目名	栄養教諭論Ⅰ	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	菊池 節子		
開講期	前期		
授業概要	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①栄養教諭の使命や職務内容を理解する。 ②教育に関する専門性および栄養に関する専門性を習得する。 ③児童・生徒を取り巻く現状を把握し、問題点を見つける。 ④児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養教諭の使命や職務内容の重要性を理解し、教育に関する専門性および栄養に関する専門性を身に付けるとともに、児童・生徒を取り巻く課題を踏まえ、児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得することを目的とする。</p>		
達成目標	<p>【履修カルテの評価項目（達成目標）】</p> <p>①栄養教諭の職務内容と位置づけ、期待される役割について理解できたか。 ②子どもの体位体格を知り、食生活の大切さを考えることができたか。 ③食に関する指導の全体計画について理解できたか。</p>		
受講資格	食物栄養学科 2年	成績評価 方法	①筆記試験 50% ②レポート・発表 30% ③授業態度 20%
教科書	よくわかる栄養教諭－食育の基礎知識－ 第二版 同文書院 2100円＋税 食に関する指導の手引－第一次改定版－ 文部科学省 東山書房 1200円＋税		
参考書	小・中学学習指導要領、小・中学学習指導要領解説		
学生への要望	日頃から食育に関心を持ち、子どもの食生活や食習慣の現状とその問題点に関する情報収集を行うこと。		
オフィスタイム	月曜V限（16：10～17：40） 火曜V限（16：10～17：40） 場所：No.1調理学研究 そのほか時間帯の希望も含め、事前にskikuchi@koriyama-kgc.ac.jpに連絡ください。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	オリエンテーション	シラバスの説明を通し、授業の目標と進め方、成績評価方法について確認する。また栄養教諭配置に関する情報等の確認を行う。	与えられた課題に取り組む。
2	栄養教諭の制度と役割①	学校栄養職員の歴史と栄養教諭制度創設までの経緯について理解する。	与えられた課題に取り組む。
3	栄養教諭の制度と役割②	栄養教諭の職務が食に関する指導と給食の管理であることを理解し、栄養教諭に期待される役割について理解する。	与えられた課題に取り組む。
4	学校給食の意義と役割	学校給食の歴史を振り返り、学校給食の教育的な意義と役割、栄養教諭の学校における位置づけ等について理解する。	与えられた課題に取り組む。
5	食文化の変遷と学校給食①	学校給食の食事内容の推移、食器具も含めた食事環境の変化を通して、日本人の食生活と学校給食のかかわりについて理解する。	与えられた課題に取り組む。
6	食文化の変遷と学校給食②	米飯給食から始まったといわれる郷土食や地場産物の活用について理解する。	与えられた課題に取り組む。
7	子どもの発達と食生活	現在の児童・生徒の体位、体力、健康状態、栄養素摂取の状況、食生活の実態、さらに不登校や摂食障害など心の健康問題について理解し、それらを正しく説明できる知識を習得する。あわせて、他職種と協力しての栄養教諭の対応について考える。	与えられた課題に取り組む。
8	食育実践事例の紹介	児童・生徒の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じ、家庭や地域社会と連携を図りながら食育の推進を進めて成果を上げていることを実際の取り組み例から学ぶ。	与えられた課題に取り組む。
9	「食に関する指導」の全体計画	食に関する指導は、学校教育や学校給食の目標、児童・生徒の実態を把握し、さらに食に関する指導目標や学校給食管理の基本方針を踏まえたうえで、全体的な計画を立案して進められていることを理解する。	与えられた課題に取り組む。
10	給食の時間における食に関する指導①	食に関する指導は、給食の時間をはじめとして、関連教科などに幅広くかかわるものであるため、指導の計画と給食管理との有機的連携を図った食に関する指導の年間指導計画が作成されていることを理解する。	与えられた課題に取り組む。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	給食の時間における食に関する指導②	学習指導要領における学校給食の位置づけを再確認し、給食の時間における指導の特質、内容、進め方等について学び、給食の時間（ショートタイム）の模擬授業の演習を行う。	与えられた課題に取り組む。 60
12	特別支援学校における食に関する指導の進め方	特別支援学校にはさまざまな障害を持つ児童・生徒がおり、その障害の重度や対象年齢も幅広い。そこで、特別支援学校における食に関する指導は、全体指導から個人指導と、きめ細やかな指導が必要であることを理解する。	与えられた課題に取り組む。 60
13	家庭や地域社会との連携	食に関する指導は学校の教育活動全体を通して行われていること、さらには、学校以外の家庭や地域社会と連携していることを理解する。	与えられた課題に取り組む。 60
14	食に関する指導の成果と評価の在り方	栄養教諭の特性を活かした年間指導計画の作成方法、実施後の評価方法ならびに評価結果の次年度への反映方法等を習得する。	与えられた課題に取り組む。 60
15	まとめ	半期を振り返り、栄養教諭論Ⅰで学んだ内容のより一層の定着を図る。	与えられた課題に取り組む。 60

科目名	栄養教諭論Ⅱ		対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	菊池 節子			
開講期	後期			
授業概要	<p>【授業の目標・めあて】</p> <p>①学習指導案を作成することができる。 ②作成した指導案を基に、模擬授業を行うことができる。 ③個別相談指導、集団指導の技法を習得し、活用することができる。 ④学校、家庭、地域の連携を考えて、食に関する指導を行うことができる。 ⑤食に関する指導の評価について理解できる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>現代の子どもの食生活における諸課題と学校における食に関する指導の実態および課題について理解し、学級担任や教科担任、家庭や地域と連携した食に関する指導を行っていくために必要な知識と実践力を身につけることを目的とする。</p>			
達成目標	<p>【履修カルテの評価項目（到達目標）】</p> <p>①学習指導案を作成することができたか。 ②作成した指導案を基に、模擬授業を行うことができたか。 ③個別相談指導、集団指導の技法を習得し、活用することができたか。 ④学校、家庭、地域の連携を考えて、食に関する指導を行うことができたか。 ⑤食に関する指導の評価について理解できたか。</p>			
受講資格	家政学部食物栄養学科学生	成績評価 方法	①筆記試験 50% ②レポート・発表 30% ③授業態度 20%	
教科書	よくわかる栄養教諭－食育の基礎知識－ 第二版 同文書院 2100＋税 食に関する指導の手引－第一次改定版－ 文部科学省 東山書房 1200円＋税			
参考書	小・中学習指導要領、小・中学習指導要領解説書			
学生への要望	学校における食に関する指導に興味・関心や自分なりの課題意識を持って受講し、発表や相互評価に積極的に参加してください。			
オフィスタイトム	月曜Ⅲ限（12：50～14：20） 火曜Ⅴ限（16：10～17：40） 場所：月はNo.1調理学研究室（家政学館1階） 火は調理実習室・ラーニングコモンズ（家政学館1階） そのほか時間帯の希望も含め、事前にskikuchi@koriyama-kgu.ac.jpに連絡ください。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	オリエンテーション	シラバスの説明を通し、授業の目標と進め方、成績評価方法について確認する。また栄養教諭論Ⅰの復習を行う。	与えられた課題に取り組む
2	特別活動における食に関する指導	小・中学校の学習指導要領から特別活動の目標や内容を把握し、学習指導案の作成方法について学ぶ。	与えられた課題に取り組む
3	特別活動における食に関する指導の実践例①	子どもが楽しく学ぶ特別活動における食に関する指導の指導案、指導媒体、板書計画等について、提示された実践例（低学年対象）から、発達段階に応じた指導方法を学習する。	与えられた課題に取り組む
4	特別活動における食に関する指導の実践例②	子どもが興味を持って学ぶ特別活動における食に関する指導の指導案、指導媒体、板書計画等について、提示された実践例（高学年対象）から、発達段階に応じた指導方法を学習する。	与えられた課題に取り組む
5	特別活動における食に関する指導【演習①】	特別活動における食に関する指導の指導案、指導媒体の作成を行い、模擬授業の準備を行う。	与えられた課題に取り組む
6	特別活動における食に関する指導【演習②】	作成した食に関する指導の指導案を基に、模擬授業を行う。模擬授業の評価として、良い点、改善点等について互いに意見交換を行う。	与えられた課題に取り組む
7	特別活動における食に関する指導【演習③】	作成した食に関する指導の指導案を基に、模擬授業を行う。模擬授業の評価として、良い点、改善点等について互いに意見交換を行う。	与えられた課題に取り組む
8	教科、総合的な学習の時間における食に関する指導	小・中学校の学習指導要領から各教科の目標や内容を把握し、学習指導案の作成、指導媒体の作成、板書計画等について学ぶ。総合的な学習の時間については、学習指導要領総則より把握する。	与えられた課題に取り組む
9	個別的な相談指導の進め方	個別的な相談指導の手法としてカウンセリング技法を学び、肥満・やせ・アレルギーなどの個別的な相談指導について、提示された例から指導方法を学ぶ。	与えられた課題に取り組む

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
10	集団的な相談指導の進め方	肥満・やせ・スポーツ栄養などの集団的な相談指導について、提示された例から指導方法等を学ぶ。	与えられた課題に取り組む 60
11	個別相談指導・集団指導【演習①】	個別相談指導、全体集会等での集団指導の中から、対象者もしくは対象群、指導テーマをグループで選んで設定し、指導方法、指導媒体の作成を行う。	与えられた課題に取り組む 60
12	個別相談指導・集団指導【演習②】	グループで選んだテーマおよび指導方法で、模擬指導を行う。模擬指導の評価として、良い点、改善点等について互いに意見交換を行う。	与えられた課題に取り組む 60
13	学校・家庭・地域が連携した食に関する指導【演習①】	学校・家庭・地域が連携した指導方法の1つである「給食だより」の作成を行う。	与えられた課題に取り組む 60
14	学校・家庭・地域が連携した食に関する指導【演習②】	作成した「給食だより」に基づき発表を行う。発表の評価として、良い点、改善点等について互いに意見交換を行う。	与えられた課題に取り組む 60
15	まとめ	半期を振り返り、栄養教諭論Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。	与えられた課題に取り組む 60

科目名	教育原理 I	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択
担当教員	関川 悦雄, 山本 裕詞		
開講期	前期		
授業概要	<p>本授業は教職課程必修科目のうちのもっとも基本となる科目であり、受講生たちが教育の原理や理念、教育の歴史や思想に関する基本的理解を深めて教育の全体と課題を把握することを目標とする。受講生は、これまでほぼ無意識に教育を受けてきた立場から転じて、今後は人間の発達や知育や德育の問題について教育思想や教育法制度、教育行政の理解をすることで、教育について客観的視点から学習するようになる。その場合、学校教育の在り方をとくに深く考察し、教職という職責の意義と責任について自覚を高めていく。こうして、教育に対する上記の視点の転換によって、教育の原理・本質を、歴史的考察と合わせて、国際比較の観点からも幅広く理解できるようになるであろう。</p> <p>さらに受講生は、教員として求められる実践的教養を身につけていくことが求められる。とりわけ、教育法規、教育課程、教育行政については具体的に正確に理解し、学校教育の骨格について理解を深めると同時に、教育や子どもを取り巻く時事問題へも精通するようになり、教職に対する前向きなスタンスをを培うようにする。</p> <p><履修カルテの評価項目：到達目標></p> <p>①教育の目的とは何かについて考察をするが、その場合、歴史的練磨を経てきた教育の古典的思想や子ども観、発達観、学習観の理論に触れて、人間の成長の意味を考察することができたか。</p> <p>②自己体験からだけでなく、社会的・行政的、制度的角度から教育について理解することができるようになったか。</p> <p>③学校・学級に関する問題意識を高めることができたか。</p> <p>④マスキミで話題になる学校教育や子どもの問題について、表面的ではなく、原理的に考察できるようになったか。</p>		
達成目標	<p><履修カルテの評価項目：到達目標></p> <p>①教育の目的とは何かについて考察をするが、その場合、教育基本法上の規定のみならず、歴史的練磨を経てきた教育の古典的思想や子ども観、発達観、学習観の理論に触れて、人間の成長についてアプローチができたか。</p> <p>②自己体験からだけでなく、社会的・行政的、制度的角度から教育について理解することができるようになったか。</p> <p>③学校・学級に関するさまざまな話題について、問題意識を高め、図書館にも出向き、自ら資料を通して分析することができるようになったか。</p> <p>④マスキミで話題になる学校教育や子どもの問題について、表面的ではなく、原理的に考察できるようになったか。</p>		
受講資格	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 2年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科 福祉コース 2年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 2年 2単位 選択 家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択 1年 2単位 選択	成績評価 方法	①授業中に1～2回レポートを課し、次回の授業で発表・意見交換を行う。レポートの評価と発表・意見交換などで60点とする。 ②学期末のレポートまとめで40点。 この2つの総合点が100点とする。他方、欠席等が多い場合やレポート提出のない学生には、総合点から減点措置をとる。
教科書	<p>特に指定しない。</p> <p>しかし、毎回の授業時にその日の講義内容を詳述した特製レジュメを配布するので、授業内容を忘れるということは決してない。それらを順序良くファイルに綴じて毎回の授業に持参し、復習にも用いること。試験前にはそれら配布資料をしっかりと再読すること。</p> <p>尚、関川担当分の授業では、関川・北野『教育思想のルーツを求めて』（啓明出版、2009年）を使用する。</p>		
参考書	<p>①第8回からの授業は、教育制度の観点から教育原理の理解を深めることとなるため、最新の『教育小六法』を持参すること。その他一般参考書となる文献は、『教育法規』や『文部科学白書』、『子ども・若者白書』などの公的資料や分野別研究書、他に新聞記事など、多数あります。いずれにしても、授業中に教えます。</p>		
学生への要望	<p>講義形式を大切にしながら、同時に提出レポートを活用した発表や、教育的テーマをめぐる意見交換のアクティブな形式を導入することで、教育問題への主体的考察を習慣づける。したがって、受講生には、下調的な学習を求める。</p> <p>1 学問的要望</p> <p>教育の原理となっている教育思想や教育行政には、先ず歴史的系譜というものがあり、先ずはそれを理解することが必要である。各思想間には相違や見方の対立があるので、その対立構造や文脈を学ぶことで、主要な教育思想や特徴を把握していけば、歴史的に知られている教育思想を生き生きと理解することができる。</p> <p>授業中に出てくる思想家、哲学者、教育行政官、教育実践家（学校をつくって教育にあたった人物）については、常に次回授業までに、可能な限り教育学辞典や世界人名事典、インターネット等で調べて確認し、その部分のコピーを取っておき、知識を確実にしよう。</p> <p>2 守るべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業には清新な気持ちで臨み、新しい内容を発見し、自分を作り上げていってほしい。 ・参考書は授業中に教示するが、教科書は定めない。毎回配布される授業内容のレジュメや資料を必ずファイルにして綴じておき、それを大切に保存し、毎回の授業時にそのファイルを持参し、教科書として活用すること。 ・授業に対しては真摯な気持ちで臨み、授業開始時と終了時の礼儀（挨拶）を軽視しないこと。 ・レポートを出された場合は、既定の日（大抵は翌週の授業時）に必ず提出すること。定期試験前に慌てて過去のレポートを提出することは認められない。レポートは、A4の用紙に印字してくること。 ・授業開始時には、机の上に決して飲食物を出しておかないように重々心がけること。 		
オフィスタイトム	<p>関川：水曜Ⅲ限（12:50）；木曜Ⅳ限（14:30～16:00） e.sekikawa@koriyama-kgc.ac.jp 山本：月曜Ⅰ限（10:30）；月曜Ⅲ限（12:50～14:20） y.yamamoto@koriyama-kgc.ac.jp</p>		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
---	----	------

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	導入：教職という仕事と教育について学ぶことの意味	受講生の皆さんと一緒に次のテーマについて考える。 1 家庭教育という人間形成の基盤 「私の受けた家庭教育の意義」 2 学校・社会から見た教育の意味 家庭教育、学校教育、社会教育 3 教育を考察する多面的・総合的領域 教育実践の位置	60
2	今日の学級とコメニウス	1今日の学級制は何のために編制されるか。2学級とは何か、その規模はどうか。3ベル・ランカスタ法一の考案者はだれか、その方式の長所・短所は何か。4学級制の考え方の考案者たるコメニウスはいかなる人物か。5コメニウスの著書や功績などは何か。	60
3	J. J. ルソーの〈子ども〉の発見と市民教育	1子どもの人権は何で保障されているか。2子どもの権利に関する条約は何か、またその成立の経緯はどうか。3子どもの人権保障の考え方はルソーにまで遡及できるか。4ルソーの著書・思想・教育論は何か。	60
4	J. H. ベスタロッチの直観教授の確立と博愛主義教育の普及	1誰にも共通する初等教育はいつ始まったか、その内容は何かであったか。2ベスタロッチの教育事業はどこで始まり、どういう経緯を辿っていったか。3ベスタロッチの直観教授はどのようなもので、基礎陶冶の理念は何か。4日本に入ってきたベスタロッチ主義は何か。	60
5	J. F. ヘルバルトの教授4段階とヘルバルト主義の教授5段階	1現在の学校教育の中に見る教科教授の過程や教材の取扱いはどうなっているか。2ヘルバルトの科学的教育学はどうやって確立したのか。3ヘルバルトは教育の目的とその方法を何に求めたのか。4ヘルバルトは教授4段階をどう規定しているか。5ヘルバルト主義という教授5段階はどうなっており、日本にはどういう経緯を経て入ってきたのか。	60
6	ホーレス・マンの公教育思想と公立学校制度	1現在の日本の教育委員会制度はどうなっているか。2アメリカ公立学校の父たるホーレス・マンはどのような人物であり、かれの教育思想は何か。3公教育の三大原則は何か。4公教育制度のもつ意味は何か。	60
7	J. デューイの児童中心主義教育と経験主義教育	1旧教育と新教育の違いは何か。2世界における新教育運動の流れはどうであったか。3デューイの経験重視の教育は何か。4デューイ後の新教育の展開はどうなっているか。	60
8	教育法規の体系	1. 日本国憲法 2. 教育基本法 3. 学校教育法・同施行規則 戦前・戦中の教育勅語体制との比較において、戦後の、いわゆる憲法・教育基本法体制の理解を深めます。また、その延長にみる平成18年教育基本法全部改正の意義を考察します。	60
9	日本の教育制度と行政	1. 学校教育制度 2. 社会教育・生涯学習制度 3. 教育行政システム 日本の教育制度と行政を総覧した上で、教育行政の一般行政からの相対的独立の意義を考えます。	60
10	学校制度の類型	1. 学校制度の類型—単線型と複線型— 2. 他国の教育制度 3. 私教育と公教育の違い 学習権保障の内実を考察の中心に据えながら、国家・社会的見地からの学校体系の設計について検討します。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	「学校」という空間	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校・教室の風景 2. フリースクール 3. 子供の放課後活動の変遷 子どもの学びの形の多様化を、それが生じた背景を含めて理解することで、現状が抱える課題を可視化します。	予習・復習；レポート作成と整理 60
12	生涯学習社会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後の社会教育制度 2. 生涯学習への移行 3. 学校支援ボランティアなどのボランティアの現状 生涯学習社会への移行を理解するために、コンドルセにみる理念的誕生と、その後の制度の推移を確認する。その上で、人間化へ向かう生涯学習と社会適応（資本適応）に向かう二つのベクトルがあることを理解し、我が国における「生涯学習社会」の実態を評価する。	予習・復習；レポート作成と整理 60
13	日本社会が抱える教育に関する病理（1）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「いじめ」研究による「いじめ」解釈 2. 群生秩序と普遍秩序 3. いじめ防止対策推進法 「いじめ」研究による「いじめ」の構造について理解を深めた上で、いじめ防止対策推進法の内容を確認する。また、近年生じた「いじめによる自死」事件を分析し、当該ケースの問題点を考察する。	予習・復習；レポート作成と整理 60
14	日本社会が抱える教育に関する病理（2）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育病理」の理論と制度的対応の限界 「教育病理」概念についての理解を深め、それに対する制度的対応を確認することを通して、公教育に内在する原理的課題について考察する。	予習・復習；レポート作成と整理 60
15	授業のまとめ	授業のまとめと確認を行う。	予習・復習；レポート作成と整理 60

科目名	教職論		対象 単位数	家政学部 人間生活学科 1年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	山本 裕詞			
開講期	前期			
授業概要	〔授業の目的・ねらい〕 最初に、人間の成長に必要な「教育」について思考を深め、その上で、公的な教育機関である学校や公的資格である教員免許状の意義について考えていきます。その際、具体的な制度、仕組み、役割を確認しながら、本来の意義に立ち返って批判的に理解を深めます。後半では、近年社会問題化している教育問題について、それに対して期待されている教員の役割を確認し、それを「教育」や「学校」の本来の意義から批判的に検討します。			
達成目標	1) 我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。 2) 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する。 3) 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する。 4) 学校の担う役割が拡大・多様化する中で、学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。			
受講資格	教職等に就くことを希望する者	成績評価 方法	まとめ試験50%、授業末や課題として実施する小テスト・小レポート等の提出物等50%の割合で総合評価。	
教科書	最新版の教育小六法を用意すること（例えば、『教育小六法2019年版』学陽書房）など。なお、授業中にプリント等を配布することがあるので、ファイリングしてノートと連動して活用できるようにしておくこと。			
参考書	本図愛実・末富芳編『新・教育の制度と経営[新訂版]』学事出版 2017年 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説』2017年			
学生への要望	常に受け身の姿勢ではなく、主体的、積極的な姿勢で授業に望んでほしい。			
オフィスタイム	月曜Ⅱ限（10:30～12:00） 月曜Ⅲ限（12:50～14:20） 場所：教職課程推進室（家政学館4階奥左） そのほかの時間帯の希望を含め、事前にy.yamamoto@koriyama-kgc.ac.jpにご連絡ください。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	○オリエンテーション ○二つの教育モデル	○授業計画および評価方法の案内 ○二つの教育モデルと教師の在り方を考える	まとめの小レポート 90
2	学校教育の機能1	○学校教育の目的 (1) 学校の種類 (2) 学校の設置者 (3) 教育行政と学校管理	復習 小テスト 90
3	学校教育の機能2	○教職員とその職務 (1) 教職員の職務とその内容 (2) 事務職員の職務 (3) その他	復習 小テスト 90
4	教員の資質と教員観	○教員に求められる資質能力 (1) 教員観と教員に求められる資質の関係 (2) 専門職としての教員	復習 小レポート 90
5	学校の組織と運営1	○校長および教頭、主任の職務と役割 (1) 校長 (2) 副校長、教頭 (3) 主任等	復習 小テスト 90
6	学校の組織と運営2	○学校の組織と運営 (1) 校務分掌による役割分担 (2) 新しい職による組織の変化	復習 小レポート 90
7	教諭の教育活動1	○学級担任の職務と教科指導等 (1) 学級担任の役割と学級経営 (2) 教科指導 (3) 養護教諭、栄養教諭の職務	復習 小テスト 90
8	教諭の教育活動2	○道徳の指導と「総合的な学習の時間」 (1) 道徳教育の実際 (2) 総合的な学習の時間	復習 小レポート 90
9	教諭の教育活動3	○生徒理解にもとづく指導 (1) 生徒指導の意義 (2) 進路指導の意義	復習 小レポート 90
10	教員の服務	○教員の一日と服務規程 (1) 勤務と休暇 (2) 服務規律	復習 小テスト 90
11	教員の研修	○教員の研修とその体系 (1) 教員研修の種類 (2) 教員研修の内容 (3) 免許更新制度	復習 小テスト 90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
12	現代における学校教育の課題 1	○人権教育と学習権の保障 (1) 同和教育 (2) 特別支援教育の理念と「障がい」理解 (3) 貧困と教育機会	復習 小レポート 90
13	現代における学校教育の課題 2	○いじめと不登校 (1) いじめの現状と自己の認識 (2) いじめ重大事態における公教育責任 (3) 専門職間の連携・協働	復習 小レポート 90
14	現代における学校教育の課題 3	○学習指導要領の概要と課題 (1) 学習指導要領の歴史の変遷 (2) 新学習指導要領の目指すもの	復習 小レポート 90
15	授業のまとめ	○授業の総まとめ	復習 総まとめテストのチェック 120

科目名	教育心理		対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択
担当教員	折笠 国康			
開講期	前期			
授業概要	教育心理学は、教育活動をより効果的に行うための心理学的な知見や技術を提供する学問である。本科目を通して、より効果的な教育実践が可能となる教育に関する心理学的な知識や方法を理解することを目標とする。			
達成目標	①認知や感情などの「心の発達」に関する基本概念をどの程度理解できたか。 ②「自己」に関する基本概念をどの程度理解できたか。 ③近年の教育現場で問題となっている事柄をどの程度理解できたか。			
受講資格	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 2年 家政学部 人間生活学科 福祉コース 2年 家政学部人間生活学科建築デザインコース2年 家政学部 食物栄養学科 2年	成績評価 方法	授業内容の「80%程度」の理解が必要。理解度の評価は、授業の参加の様子やリアクションシート30%、試験70%で行う。	
教科書	特に指定はない。			
参考書	講義の中で、適宜紹介する。			
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。			
オフィスタイム	金曜日 2限 8 3 5 3限 8 3 5			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	オリエンテーション、教育心理学とは	この授業の目的と授業方針を理解する。心理学的な思考や考察が果たす役割を理解する。 認知心理学の基礎を学び、認知に対する認識について理解する。	60
2	自己に関わる心理学（1）	アイデンティティ、自己評価、自尊感情の概念を理解し、自己を心理学的に理解する。	60
3	自己に関わる心理学（2）	アイデンティティ、自己評価、自尊感情の概念を理解し、自己を心理学的に理解する。	60
4	自己に関わる心理学（3）	本当の自尊感情、本当の自分について心理学的に理解する。	60
5	記憶と思考（1）	人間の記憶と思考のメカニズムについて理解する。	60
6	記憶と思考（2）	人間の記憶と思考のメカニズムについて理解する。	60
7	動機づけの心理学（1）	人間の動機づけについての知見を概観し、動機づけを心理学的に理解する。 内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	60
8	動機づけの心理学（2）	人間の動機づけについての知見を概観し、動機づけを心理学的に理解する。 内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。	60
9	学級の心理学（1）	理想の学級の姿や学級の機能、全国的な学級の様子や課題について理解する。 学級アセスメントについて理解する。	60
10	学級の心理学（2）	理想の学級の姿や学級の機能、全国的な学級の様子や課題について理解する。 学級アセスメントについて理解する。	60
11	学級の心理学（3）	理想の学級の姿や学級の機能、全国的な学級の様子や課題について理解する。 学級アセスメントについて理解する。 アクティブラーニングと学級集団の関係を理解する。	60
12	勇気と勇気づけの心理学	自主自立の姿の達成、人生を主体的に生きるために必要な勇気と勇気づけについて理解する。	60
13	アドラー心理学（1）	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。 また、人生を主体的に生きるための知見について理解する。	60
14	アドラー心理学（2）	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。 また、人生を主体的に生きるための知見について理解する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
15	本講義のまとめ	試験を実施し、本講義の内容を振り返り心理学的な知見のまとめを行う。	復習：授業内容をまとめ、必要に応じ参考文献にあたる 60

科目名	道徳教育の理論と方法		対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択
担当教員	関川 悦雄			
開講期	後期			
授業概要	本授業では、道徳教育は道徳科という授業だけでなく、学校における全体の教育活動を通しても行われることになっており、「道徳教育は苦手だから教えない」というわけにはいきません。週1時間の「道徳の時間」は「特別の教科」として道徳科になり、教員を目指す皆さんは今まで以上に道徳教育について学ぶ必要があります。道徳教育を行うためには、まず自らが「道徳とは何か」を自問自答しながら、道徳教育の歴史や道徳性の発達に関する基礎知識を習得していることが求められます。さらに、道徳についての思索を深めつつ、学校全体にわたる道徳教育の目標・内容、道徳科の目標・内容・指導計画と実際の指導、そして道徳科の成立に伴う「新しい道徳授業」を模索して行きます。			
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 道徳とは何か、自問自答できる。 2 「道徳性」を構成する諸様相、小学校と中学校にわたるその道徳性の発達について系統的に理解できる。 3 道徳教育と道徳科のそれぞれの目標・内容・指導計画を理解し、これらに沿って実際の指導ができる。 4 新しい道徳授業をつねに模索し続けることができる。 			
受講資格	中学校・高校教諭の教員免許状の取得を目指す学生。	成績評価 方法	毎回ワークシートを使用し、毎回教科書を使いつつこのワークシートの内容空欄を埋め、どこかで1回は模擬授業ができることで、60%で合格とする。学期末のまとめ作成で40%を加算する。	
教科書	羽田積男・関川悦雄編著『道徳教育の理論と方法』（弘文堂）を使用する。			
参考書	特になし。			
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を要望する。専用のノートを準備すること。			
オフィスタイム	水曜Ⅲ限（12:50～14:20）同曜Ⅳ限（14:30～16:00）。随時、時間のあるときに相談に応じるので、下記のメール・アドレスで事前の予約をとること。ugg28553@m4.dion.ne.jp			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	講義ガイダンス	授業の進め方やワークシートの活用、成績評価の付け方、班別討議の仕方などを説明する。	予習・復習；レポートの作成と整理
2	道徳とは何か	道徳に関する事例を多角的に検討し、徳目主義の問題点と道徳教育の可能性を考える。	予習・復習；レポートの作成と整理
3	わが国の道徳教育の歴史（1）	戦前の道徳教育の歴史—修身科における道徳教育の推移や教育勅語体制の確立、戦時期の国民学校における修身科教育のありようを考察する。	予習・復習；レポートの作成と整理
4	わが国の道徳教育の歴史（2）	戦後の道徳教育の歴史—修身科の廃止、「道徳の時間」の特設、「特別の教科」としての道徳科の成立の流れを検討する。	予習・復習；レポートの作成と整理
5	道徳性の発達（1）	道徳性を構成する諸様相にはどんなものがあるか。	予習・復習；レポートの作成と整理
6	道徳性の発達（2）	小学校児童の道徳性の発達と中学校生徒の道徳性の発達について系統的にとらえる。	予習・復習；レポートの作成と整理
7	学校における道徳教育（1）	道徳教育の目標と内容をとらえて、その適切な指導を考える。	予習・復習；レポートの作成と整理
8	学校における道徳教育（2）	道徳教育の全体計画の事例を参照しながら、その作成する際の配慮すべき事項と全体計画の意義と内容について考える。	予習・復習；レポートの作成と整理
9	道徳科の目標と内容（1）	道徳科の授業と、それ以外の教育活動における道徳教育との関係について考える。	予習・復習；レポートの作成と整理
10	道徳科の目標と内容（2）	道徳科の目指すべき目標を検討する。	予習・復習；レポートの作成と整理
11	道徳科の目標と内容（3）	道徳科の内容項目と、その取扱いの工夫について考える。	予習・復習；レポートの作成と整理
12	道徳科の指導計画と実際の指導（1）	道徳科の指導計画の立案と、それに沿った道徳授業を展開してみる。	予習・復習；レポートの作成と整理
13	道徳科の指導計画と実際の指導（2）	道徳科の指導方法の模索と評価の意義について考える。	予習・復習；レポートの作成と整理
14	新しい道徳授業を求めて	「考え、議論する道徳の授業」を実践するには、どんな工夫が必要なのかを検討する。	予習・復習；レポートの作成と整理
15	授業のまとめ		予習・復習；レポートの作成と整理

科目名	教育方法論	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択
担当教員	山上 裕子		
開講期	後期		
授業概要	教育の方法は、学ぶ者、学ぶ内容によって動く生きものである。何をどう教えていくのか、学校全体の教育課程全体像をつかみつつ、日々の授業を創意工夫していく必要がある。特に現在は、自ら主体的に考えるアクティブな学びが求められている。本講義では、教育方法の基礎理論をもとに、教育課程の意義や編成、授業の構成要素や評価、また、授業の基礎的な技術や指導案の作成及び模擬授業を行う。そして、教育機器の効果的な使用方法について学ぶ。		
達成目標	①教育方法の基礎理論について理解できたか。 ②授業の構成要素や多様な学習評価について理解できたか。 ③授業の指導技術のポイントを理解し、指導案を作成できたか。 ④教育課程の意義とカリキュラムをマネジメントする必要性を理解できたか。 ⑤情報モラルの現状と課題について理解できたか。 ⑥ICT教育の特徴と教材作成方法について理解できたか。		
受講資格	教職課程履修者	成績評価 方法	授業参加度20%、レポート80%
教科書	・小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） ・中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） ・高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）		
参考書	・佐藤学『教育の方法』左右社、2012年。 ・古藤泰弘『教育方法学の実践研究』教育出版、2013年。 ・その他、授業中に適宜資料を配布する。		
学生への要望	授業用ノートを準備し、疑問点などメモをとること。 遅刻、欠席をしないよう注意すること。		
オフィスタイム	山上裕子 木曜日：14：30～16：00 833研究室 金曜日：12：50～14：20 833研究室 山口 猛 月曜日 10：30～12：00 No.2生芸科研究室 火曜日 16：10～17：05 No.2生芸科研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	オリエンテーション（担当：山上裕子、山口猛）	授業内容について説明を受け、到達目標を確認する。これまで受けてきた授業を振り返り、現在求められている学びについて考える。	シラバスを確認し、自身が受けてきた授業についてメモにおこす。	30
2	教育の方法の基礎（担当：山上裕子）	子どもから学びが始まる、という教育観に立つ先人たち（ルソーの消極的な教育、ペスタロッチの直観教育等）の提案した教育方法の考え方と、その実践について学ぶ。	世界史の年表を手に取り、授業で取りあげる人物の時代背景を確認する。	60
3	問題解決学習（担当：山上裕子）	自らが問い、課題を設定し、それを解決していくデューイの問題解決学習の理論と実践を学ぶ。また、今日に見られる総合的な学習の時間や道徳教育で取り組まれている実践を例に理解を深める。	世界史の年表を手に取り、授業で取りあげる人物の時代背景を確認する。	60
4	多様な授業の形態と授業の構成要素（担当：山上裕子）	一斉授業や個別指導、モニトリアル・システムやドルトンプランなどの多様な授業方法を学ぶ。授業を構成する要素を検討し、主体的な学びとなるための教材の工夫について考え、小レポートにまとめる。	個別指導の長所・短所について、自身の経験をもとにメモにまとめる。	30
5	教育課程の役割と意義（担当：山上裕子）	20世紀初頭、アメリカで生じたカリキュラム議論に立ち返ることで、教育課程の多様な考え方について学ぶ。また、日本で告示されている「学習指導要領」の性格や社会で果たしている役割を学ぶ。	教育実習に行く先の校種に応じた「学習指導要領」を手に入れ、記載内容を概観する。	60
6	学力観の変遷（担当：山上裕子）	「学習指導要領」の変遷をたどることを通して、日本の学力の考え方の変遷を理解する。また、今日求められている学力について考える。	「学習指導要領」の記載内容を確認し、変遷についてまとめる。	60
7	教育課程の編成（担当：山上裕子）	教育課程の編成の基本を学び、具体的な教育計画をシュミレーションすることをとおして、教育内容の選択や配列、指導計画の検討について考える。	「学習指導要領」の総則をよく読み、指導計画との繋がりを考える。	1
8	学校組織の中の学び（担当：山上裕子）	日々の授業は、学校全体の教育課程の位置づけにおいてなされる重要性を知るとともに、教育課程をマネジメントするという考え方の大切さを学ぶ。	科目を越えた教育内容は何か、見つける。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
9	多様な学習の評価（担当：山上裕子）	授業形態に応じた多様な評価について、基礎理論に立ち返りつつ、何をどのように評価を行うのかを学ぶ。	他者を評価することとはどのようなことが要求されるか、自身の経験を踏まえまとめる。
10	指導案の作成（担当：山上裕子）	これまでの授業内容を踏まえ、指導案を作成するための具体的な注意点を学び、指導案を作成する。	模擬授業の内容を考える。
11	模擬授業（担当：山上裕子）	話し方、板書の仕方等に留意し、作成した指導案を試す。	模擬授業の準備をする。
12	模擬授業の検討（担当：山上裕子）	より深い学びとなる授業の指導案の書き方や、技術について、模擬授業を検討し合う。小レポートにまとめる。	模擬授業の反省をまとめる。
13	情報モラルの現状と課題（担当：山口猛）	情報機器（スマートフォン・タブレット等）が急速に普及する中、子どもたちの学びを脅かすさまざまな課題（情報機器の利用実態・事件/事故）を理解し、対策を学ぶ。	授業で紹介した「情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～指導の手引き」を読む。
14	ICT教育の歴史と現状（担当：山口猛）	文部科学省・総務省によるICT教育推進の歴史を確認する。また、ICT教育環境の具体的な活用事例から、長所と短所の理解を深める。	授業で説明したICT教育の課題を踏まえて、解決策を考える。
15	ICT教育対応デジタル教材の作成（担当：山口猛）	ICT教育に対応するデジタル教材作成法を学ぶ。教材作成は専門的なソフトウェアではなく、一般的に普及しているオフィスソフト（Microsoft Office）の標準機能を用いる。	授業内で説明したPowerPoint機能を用いてデジタル教材を作成する。

科目名	生徒指導論	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択
担当教員	山本 裕詞		
開講期	後期		
授業概要	<p>生徒指導とは、学校教育において全教職員が関わる校務のひとつである。先ず、学校教育の業務構造（領域と校務分掌）との関係で生徒指導とは何かを理解し、その後で、生徒指導の機能と意味を把握する。さらに、いじめや不登校、そして問題行動や非行が話題となってきた20世紀末から、生徒指導はその意味合いを、問題行動の予防と対策に重点化してきていること、そこで、どのような問題や課題が子どもたちを取り巻いており、どのような指導・対応が望まれるのかを学ぶ。</p> <p>【履修カルテの評価目標】【自己評価目標】は以下の4点</p> <p>①教師の仕事は教科を教えるだけでなく、子どもたちの人格を磨き、社会性を身につけさせ、独立した自立的な人間として形成することであるので、そのための力量と人間性をもつ必要があることを自覚できたか。</p> <p>②生徒指導主事の役割を認識できたか。また各教師は、集団としての生徒指導以外に、個別相談に関してカウンセラー的能力をもっている必要があることが理解できたか。</p> <p>③生徒指導は、教師1人ではできないこと、学校内の教職員の協力体制があつてこそ可能であり、学級・学校経営の在り方にも関わっている。ゆえに、生徒指導のためには、校長、副校長といった管理職はいうまでもなく、学年主任や養護教諭やスクール・カウンセラー、スクール・ソーシャルワーカーとの連携が重要であることを理解できたか。</p> <p>④生徒指導は、非行予防・非行対策のみならず、子どもたちの健全育成のための教育プランと連動すること、その推進には、PTAを始め地域社会の人々や、教育委員会、警察の生活安全課少年係、民生委員、ボランティアの方々等との連携が必要となっており、地域の支援のもと学校全体で取り組む仕事となっていることが理解できたか。</p>		
達成目標	<p>【履修カルテの評価目標】【自己評価目標】は以下の4点</p> <p>①教師の仕事は教科を教えるだけでなく、子どもたちの人格を磨き、社会性を身につけさせ、独立した自立的な人間として形成することであるので、そのための力量と人間性をもつ必要があることを自覚できたか。</p> <p>②生徒指導主事の役割を認識できたか。また各教師は、集団としての生徒指導以外に、個別相談に関してカウンセラー的能力をもっている必要があることが理解できたか。</p> <p>③生徒指導は、教師1人ではできないこと、学校内の教職員の協力体制があつてこそ可能であり、学級・学校経営の在り方にも関わっている。ゆえに、生徒指導のためには、校長、副校長といった管理職はいうまでもなく、学年主任や養護教諭やスクール・カウンセラー、スクール・ソーシャルワーカーとの連携が重要であることを理解できたか。</p> <p>④生徒指導は、非行予防・非行対策のみならず、子どもたちの健全育成のための教育プランと連動すること、その推進には、PTAを始め地域社会の人々や、教育委員会、警察の生活安全課少年係、民生委員、ボランティアの方々等との連携が必要となっており、地域の支援のもと学校全体で取り組む仕事となっていることが理解できたか。</p>		
受講資格	家政学部 人間生活学科 生活総合コース 3年 2単位 選択 家政学部 人間生活学科 福祉コース 3年 2単位 必修 家政学部 人間生活学科 建築デザインコース 3年 2単位 選択 家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択 1年 2単位	成績評価 方法	授業の総まとめテスト（50%）確認小テスト・レポート（50%）
教科書	<p>・文部科学省『生徒指導提要』</p> <p>・毎回の授業において、その日のテーマに即したレジュメや資料を配布するので、それらをしっかりファイルにして第2の教科書として所持していること。</p>		
参考書	<p>授業中にその都度紹介する。</p> <p>尚、『青少年白書』、『子ども年鑑』などは重要文献である。近年の刊行のものがよい。</p>		
学生への要望	<p>授業に際しては、</p> <p>①授業中に飲食をしない。机上に飲食物を出しておかない。</p> <p>②レポートは必ず指定の日までに提出する。</p> <p>③指名された場合には、積極的に前に出て発表等を行う。</p> <p>④他人の発表内容を傾聴し、質問等をして理解を深める。</p> <p>⑤毎回の授業で何かしら「なるほど」と理解を深め、楽しく授業を聴き、自分を高めていくこと。</p> <p>⑥授業で配布されるプリントを「レジュメ」という。すべてのレジュメを順序よく1冊のファイルに綴じて、教科書として使用すること。</p>		
オフィスタイム	<p>月曜2限（10：30～12：00） 月曜3限（12：50～14：20） 家政学館4階教職課程推進室 その他、授業・会議のない日ならいつでも来室可能。原則、アポを以下のメールでとること。 y.yamamoto@koryama-kgc.ac.jp</p>		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
---	----	------

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	導入 本授業の構成・計画について理解する 「生徒指導」の既存イメージを共有する	・本授業の目標と、15回分の授業内容構成について、理解する。 ・自分の学校体験の中にある「生徒指導」のイメージを確認し、発表を通して他者と共有する。 ・次回までの提出物として、レポート「思い出に残る先生」をまとめ提出する。	レポート 復習 120
2	生徒指導の意味と位置づけ	・前回出したレポートについて数名に発表してもらい、「良い先生とは」の意味を皆で考え、意見交換する。その中で、良い教師が持つ指導力に焦点をあて、それを生徒指導と関連づけてみる。 ・「教員の主な仕事」（学習指導・特別活動・生徒指導・学校運営と担当校務分掌・研究と研修）を内容を含めて理解したうえで、 ・生徒指導の意味と定義を『生徒指導提要』（文科省）の説明から理解する。また、『学習指導要領』の記載内容からも生徒指導の仕事の意義を理解する。	レポート 予習 120
3	生徒指導と教師の姿	生徒指導の観点から教師の在り方を考える。 1 手本としての教師 教師の権力性を確認した後に、生徒指導の観点から教師に必要な姿勢を洞察する。 2 教師の自己開示 上記1の具体的内容として、教師の自己開示の必要性和方法を考える。	レポート 予習 120
4	生徒指導の組織体制	多角的な観点から、生徒指導の組織体制について、理解を深める。 1. 生徒指導の校内組織 2. 生徒指導主事 3. 生徒指導年間計画 4. チームとしての学校（スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー） 5. 初期対応力とアセスメントの力	小テスト 予習 120
5	自立を促す生徒指導の手法	子どもに自立を促す生徒指導の手法を理解する。 1. コーチング 2. 構成的グループ・エンカウンター 3. ソーシャル・スキル 4. アサーション 5. 感情のコントロールとマネージメント	小テスト 予習 120
6	少年非行問題	少年非行について、その問題性と対峙方法について 1. 少年非行の推移 2. 現代的非行の特徴 3. 非行の具体的様相 4. 非行モデル 5. 非行からの立ち直り 6. 少年事件処理手続きの流れと教師の役割	レポート 予習 120
7	いじめ問題と対策	いじめの現状理解と最新のいじめ理論から、具体的対策について理解を深める。 1. いじめの現状 2. いじめの理論 3. いじめ防止対策推進法 4. いじめを 방지、いじめに向き合う生徒指導体制	レポート 予習 120
8	生徒指導と教育相談	生徒指導と教育相談の関係を整理し、指導の両輪としての性格を理解する。 1. 相談体制 2. カウンセリング・マインド 3. 校則と教育相談	小テスト 予習 120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
9	『生徒指導提要』（文科省）を読み解き、活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省が平成22年に刊行した『生徒指導提要』の発刊の意図を認識し、本書を手掛かりにして今日の児童生徒の問題行動の実態、それへの対応（予防、即時解決、事後指導、そして健全育成）へのあり方を体系的に学ぶ。 ・児童生徒の問題行動を統計値から認識する ・個別指導と集団指導の手法を学ぶ ・進路指導、教育相談、家庭・学校・地域・関係機関との連携協力の在り方を学ぶ 他に、国立教育政策研究所生徒指導センターの『生徒指導資料』全4冊や、月刊誌『生徒指導』『教職課程』（生徒指導の特集号）を活用して校内整備や多機関連携についての知識を深める。	小テスト 予習
10	子どもの規範意識とその芽生え	子どもの自立性・主体性と規範意識の関係を探究的に理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 規範意識を育むこと 2. 公共性や奉仕の精神が育まれる条件 3. グループ討議による仮説と検証 	レポート 予習
11	「抱え込み」から開かれた「連携」へ	学校への期待の変化と危機管理責任の観点から、生徒指導の効果的な連携の在り方を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童生徒の法的地位と学校への期待 2. 生徒指導と危機管理 3. 多様な対象への対応を可能にする組織連携 	小テスト 予習
12	多様な子どもたちと権利を守る諸法	多様な子どもの状況を知り、それに対する子どもの人権の観点から、生徒指導の在り方を考える。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育 2. 貧困状態におかれた子ども 3. 性的マイノリティー 	小テスト 予習
13	不登校問題と教育機会確保法	不登校の現状と対応の基本的考え方を理解した上で、教育機会確保法の持つ不登校へのインパクトを考える。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 不登校の定義と現状 2. 不登校の子どもへの支援 3. 不登校のケース会議と教育支援シート 4. 教育機会確保法の内容と、それが不登校に対して持つ意味 	レポート 予習
14	生徒指導とキャリア教育	生徒指導とキャリア教育の関係を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリア教育の必要性 2. 進路指導とキャリア教育 3. 職場体験活動 4. 高校中退と高等学校卒業程度認定試験 	レポート 予習
15	授業のまとめ	授業の総まとめを行う中で、授業全体の理解度を確認する。	復習

科目名	教育相談論	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 2年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建
担当教員	堀 琴美		築デザインコース 2年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 2年 2単位 選択/家政
開講期	後期		学部 人間生活学科福祉コース 2年 2単位 選択
授業概要	<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>教育相談は、児童・生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力をはぐくみ、個性の伸長や人格の形成を支援する教育活動です。児童・生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的過程を適切にとらえ、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの理論や技術）を身につけていきます。授業は毎回、対話式双方向型で進めていきます。後半にはグループで調査したことをプレゼンテーションの形で発表してもらいます。さらに、グループディスカッションやロールプレイなど体験的に学ぶ方法と、理論を体系的に学ぶ方法を組み合わせさせていただきます。感じたことや気づいたことを大いに語り合い、積極的に発言して、理解を深めてください。</p>		
達成目標	<p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>教員として、カウンセリング・マインドを基礎とした教育・支援の理念を持ち、また児童生徒との信頼関係を築けるような関わり方がイメージできるようになる。</p> <p>【履修カルテの評価観点】</p> <p>①学校における教育相談の意義と理論を理解する。 ②教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリング・マインド等）を理解する。 ③教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。</p>		
受講資格	「教職課程」受講者	成績評価 方法	期末試験または期末レポート（80%） 発言内容、発表内容、受講態度（20%）
教科書	「教師のための教育相談の基礎」久芳美恵子著 三省堂 2010年発行 1980円		
参考書	授業の中でテーマ別に提示する。		
学生への要望	教師をめざす学生、とは言い、どちらかという児童・生徒の気持ちのほうがよくわかる…そんな今だからこそ、（子どもとして自分が求めている）支援者としての教師像を追求してもらいたいと思います。		
オフィスタイム	火曜日Ⅲ限、水曜日Ⅱ限、臨床心理学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	オリエンテーション	授業計画と目標、評価ポイント、授業ポリシーについてのガイダンス。「心に残るあの先生」を振り返るワークショップ。	この授業で学ぶことについて概要を把握し、興味をもった内容について調べたり、文献に当たったりする。
2	教師が行う学校教育相談	子どもを取り巻く諸問題を俯瞰し、生徒指導と教育相談の関係と違いや、援助機能としての教育相談を学ぶ。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
3	自己理解と他者理解Ⅰ	教師（相談を受ける側）が自分自身を知ることの重要性を理解し、エゴグラム等を使って自分の性格特性や対人特徴を自己分析する。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
4	自己理解と他者理解Ⅱ	人格は多面的であり、人は様々な自我状態を使い分けて生きている。同じ行動でも置かれた状況によって解釈が変わることもある。子どもの問題行動の陰に隠れたSOSや心理的危機について、あるいは、教師が子どもの置かれた状況の理解することの重要性を学ぶ。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
5	自己理解を他者理解Ⅲ	人はみな見方も感じ方も違う。それをわかっているつもりでも、つい、自分と同じ見方を他の人もしているかと勘違いすることがある。教師が思い込みや偏見の陥穽にはまらないための視点を学習する。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
6	カウンセリングの理論と技術（1）	「悩みを持つ」人は「孤独」。あなたは誰に悩みを打ち明けますか。本講では、安全な聞き手とは、こころを開くアプローチなどについて考える。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
7	カウンセリングの理論と技術（2）	傾聴は何か。共感とは何か。気持ちを受け止める技術、相手の立場に立って考えることなどをテーマに体験的に学び、ディスカッションを行う。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
8	カウンセリングの理論と技術（3）	ロジャーズの人間性カウンセリング理論を中心に、人間に対する基本的な信頼や、その人が本来もつ力を取り戻す（Empowerment）ための支援について学ぶ。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
9	相談のプロセスと行動変容	カウンセリングのプロセスの中で、相談者の心に何が起こるのかを理論的に理解する。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
10	子ども理解の基礎知識（1）	著名な研究者による発達理論（エリクソン、ピアジェ、ハビィガスト）、マズローの欲求階層説を学ぶ。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。
11	子ども理解の基礎知識（2）	発達障害（LD、ADHD、アスペルガー症候群など）をもつ子どもへの理解と支援の在り方について。	授業で取り上げたキーワードや重要な概念をよく覚え、わからない言葉は調べてノートする。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
12	子ども理解の基礎知識 (3)	子どもを取り巻く今日の問題（いじめ、不登校、虐待、子どもの貧困など）の定義、統計、法制度、実態、報道記事、支援の在り方、教師として気を付けることなどについて学習し、議論する。	30
13	子ども理解の基礎知識 (4)	実際のケース（例えば児童虐待）が発生したとき、教師は誰に相談し、どのように動かなければならないのだろうか。ルポルタージュや授業用構成事例等を使って、組織的対応と関係機関連携の必要性和重要性を取り上げる。	30
14	教育相談の具体的進め方 (1)	守秘義務と組織内（関係機関連携の中での）情報共有、個人情報の扱い方、学内外の専門家との連携、組織としての取り組みなど。	30
15	教育相談の具体的進め方 (2)	子どものやる気を引き出し、保護者の心に響くようなアプローチの仕方、資料作成、支援計画の作成などについて学ぶ。	30

科目名	栄養教育実習 I	対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 4年 1単位 選択
担当教員	亀田 明美		
開講期	前期		
授業概要	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①栄養教育実習の目的や心構えを確認する。 ②学習指導案の作成や模擬授業等の体験を通して必要な実践力を修得する。 ③実習後の報告会により教育現場への理解を深める。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養教育実習を充実させるための事前指導と学びを進化させるための事後指導の構成になる。事前指導では、栄養教育実習の目的や心構えを確認し、学習指導案の作成や模擬授業等の体験を通して必要な実践力を修得する。事後指導では、報告会を行い、相互の体験の交流により、教育現場への理解を深める。</p>		
達成目標	<p>①実習生としての責任の重さを自覚できたか。 ②実習前の事前準備をすることができたか。 ③実際の指導場面を想定した学習指導案が作成できたか。 ④実習体験をふり返り、他者に伝えることができたか。 ⑤自己と他者の反省から、目指すべき教師像が描けたか。</p>		
受講資格	教職課程（栄養教諭）履修者	成績評価 方法	①模擬授業・プレゼンテーション 80点 ②レポート 20点
教科書	特になし		
参考書	栄養教諭を中核とした これからの学校の食育 ～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～ 学習指導要領		
学生への要望	栄養教育実習に向けて万全の準備で臨み、実習後はその経験を活かし教員として相応しい資質を身に付けること。		
オフィスタイム	水曜4限目・木2限目（給食管理研究室）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	10
1	教育実習オリエンテーション	実習の目的、心構え、準備等について、栄養教育実習日誌を配布し確認する。また、実習日誌の記入方法、自己評価等についても確認する。	10
2	実習の準備1	学校の組織、栄養教諭の職務内容を確認する。また、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の各領域について学習指導要領を基に、学校の実態に応じた指導計画が学年ごとに組まれていることを理解する。	10
3	実習の準備2	小学校低学年・中学年・高学年、中学校の授業例を提示し、授業全体の流れや発達段階に応じた指導方法について学ぶ。	10
4	実習の準備3	実習校の児童生徒の実態をできる範囲で把握し、実習校の課題により指導案を作成する。作成した指導案や媒体、板書計画等が児童・生徒の実態や発達段階にあっているかなどの教材研究をする。	10
5	実習の準備4	作成した指導案により、模擬授業を行う。担任や養護教諭等と、どのように連携すると教育効果が上がるかを相互の演習を通して考える。	10
6	実習の準備5	作成した指導案により、模擬授業を行う。担任や養護教諭等と、どのように連携すると教育効果が上がるかを相互の演習を通して考える。	10
7	実習の準備6	作成した指導案により、模擬授業を行う。担任や養護教諭等と、どのように連携すると教育効果が上がるかを相互の演習を通して考える。	10
8	まとめ	実習で得た学びや気づき、今後の課題をまとめて発表し、自らの教育実習を振り返る。	10

科目名	栄養教育実習Ⅱ		対象 単位数 必選	家政学部 食物栄養学科 4年 1単位 選択
担当教員	菊池 節子			
開講期	通年			
授業概要	教育実習の目的である以下の4点を踏まえ、日頃の学びの成果および教育実習事前指導で得たことを基に、「教師としての資質」を高めるために現場実習を行うことを目指す。 1. 大学で学んだことを、教える立場に立って実践的に検証すること。 2. 教師のあり方や職務・使命などを、体験的に理解すること。 3. 学校の実情や児童生徒の実態を把握し、それらへの具体的対応や心構えを知ること。 4. 自己の教職適性や教職志望を確認すること。			
達成目標	①教材研究を入念に行い、計画した指導案を実践できたか。 ②実習生としての身分をわきまえながら体験することで、教員としての服務基準の遵守を理解できたか。 ③教育実習日誌への簡潔で的確な記述ができたか。 ④学校の実情や児童生徒の実態、課題を把握することができ、その対処について指導教諭から具体的な対応策を学ぶことができたか。 ⑤実習校の先生方や児童生徒とのふれあいをとおして教職への志望が一層高まったか。			
受講資格	今年度「栄養教育実習Ⅱ」への参加を認められた者	成績評価 方法	実習校からの評価と実習記録および実習への取り組みの総合点（100点）とする。教員採用試験未受験は－10点とする。	
教科書	栄養教育実習書			
参考書	事前指導の際に連絡する。			
学生への要望	教育実習生としての心構えを理解し、実践できるように事前準備をしっかりと行うこと。 受け身の姿勢ではなく、主体的、積極的な姿勢で臨んで欲しい。			
オフィスタイム	月曜V限（16:10～17:40） 火曜V限（16:10～17:40） 場所：No.1調理学研究室 そのほかの時間帯の希望を含め、事前にskikuchi@koryama-kgc.ac.jpにご連絡ください。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション	1. 教育実習の目的 2. 教育実習の心構え 3. 教育実習のための準備	60
2	オリエンテーション	1. 実習日誌の書き方 2. 法令上の注意 3. 実習前打ち合わせ記録	60
3	現場実習	実習校での現場実習	90
4	現場実習	実習校での現場実習	90
5	現場実習	実習校での現場実習	90
6	現場実習	実習校での現場実習	90
7	現場実習	実習校での現場実習	90
8	現場実習	実習校での現場実習	90
9	現場実習	実習校での現場実習	90
10	現場実習	実習校での現場実習	90
11	現場実習	実習校での現場実習	90
12	現場実習	実習校での現場実習	90
13	現場実習	実習校での現場実習	90
14	現場実習	実習校での現場実習	90
15	教育実習成果報告会	1. 教育実習での成果 2. 教育実習で発見した課題と解決	90

科目名	教職キャリアデザインⅠ	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 3年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 3年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 3年 2単位 選択	
担当教員	山本 裕詞			
開講期	後期			
授業概要	教職キャリアデザインⅠは、建学の精神に則り、教員としてのキャリア形成を目指す学生を対象にした科目である。本科目は、教職に就くために何をどう努力したらよいか、その具体的な方途を得ることを目標としている。講義の内容は、教職教養関連の科目、専門科目、小論文、集団討論等から成る。また、12月に模擬試験（教職教養）の受験体験を組み入れ、教員としてのキャリア形成の一助となるようにはかっている。本科目の受講を手がかりにして教職へのキャリアを築くことができるよう、積極的に勉学に励むことを期待する。			
達成目標	①教員としてのキャリア形成を構築することができたか。 ②教員採用選考に向けて自己の実力を認識することができたか。			
受講資格	原則として、本学教職課程履修者の内、大学3年生、卒業生を対象とする。	成績評価 方法	平常点による「認」評価	
教科書	特に指定はない。毎回、各担当教員が資料等を配布する。			
参考書	『教育小六法』（最新版） 志望校種の『学習指導要領』			
学生への要望	採用試験は、各都道府県によってさまざまであるため、各自の自主的な勉学が必要である。本科目の受講が勉学の指針となるように、授業への積極的な参加を望む。 常に受け身の姿勢ではなく、主体的、積極的な姿勢で授業に望んでほしい。			
オフィスタイム	山本：月曜Ⅱ・Ⅲ限、関川：火曜Ⅱ限、水曜Ⅳ限、菊池：月曜Ⅲ限、火曜Ⅴ限、難波：水曜Ⅳ限、金曜Ⅲ限 亀田： 各教員の研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	復習	90
1	オリエンテーション	授業内容、自学の仕方、教員採用試験に関する説明を聞く。志望都道府県調査表を記入する。 担当：山本	復習	90
2	教育原理	過去問を解くことを通して、出題傾向を知る。 担当：山本	復習	90
3	教育法規	過去問を解くことを通して、出題の傾向を知る。 担当：山本	復習	90
4	教科別指導①	過去問を解くことを通して、出題傾向を知る。 担当：（家庭）難波、（栄養）菊池、亀田	復習	90
5	教科別指導②	各専門教科について、基礎的な知識を身につける。 担当：（家庭）難波、（栄養）菊池、亀田	復習	90
6	教科別指導③	各専門教科について、基礎的な知識の理解を深める。 担当：（家庭）難波、（栄養）菊池、亀田	復習	90
7	特別支援教育	過去問を解くことを通して、出題傾向を知る。 担当：山本	復習	90
8	教育心理	過去問を解くことを通して、出題傾向を知る。 担当：山本	復習	90
9	教育時事	過去問を解くことを通して、出題傾向を知る。 担当：山本	復習	90
10	模擬試験	模擬試験の受験体験をする。 担当：山本	復習	90
11	模試フォローアップ	模擬試験を振り返るとともに、克服すべき点を確認する。 担当：山本	復習	90
12	小論文	論理的に文章をまとめ上げる基本を知り、添削を受ける。 担当：山本	復習	90
13	個人面接	教職をなぜ目指すのか。面談の体験を通して教職への意識を高める。 担当：山本	復習	90
14	集団討論	グループで結論を導き出す体験を通して、討議とは何かを知る。 担当：山本	復習	90
15	採用試験の申込について	授業のまとめ 採用試験の手続き、提出書類について知る。 担当：山本	復習	90

科目名	教職キャリアデザインⅡ		
担当教員	山本 裕詞, 関川 悦雄, 小林 徹, 難波 めぐみ, 菊池 節子, 折笠 国康, 亀田 明美, 富士盛 公年	対象 単位数 必選	家政学部 人間生活学科生活総合コース 4年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科建築デザインコース 4年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 4年 2単位 選択/家政学部 人間生活学科福祉コース 4年 2単位 選択
開講期	前期		
授業概要	教職キャリアデザインⅡは、建学の精神に則り、教員としてのキャリア形成を目指す学生を対象にした科目である。本科目は、実践的な力をつけることをねらいとしている。 講義は、教職教養関連の科目、専門科目、小論文、集団討議等から成る。 また、授業だけではなく、業者が行う模擬試験（教職教養）の受験をとおして、自己の実力を知り、結果を踏まえてキャリア形成の一助となるよう支援する。本科目の受講をとおして、これまでの勉学がより一層促進されることを目指す。		
達成目標	①教員としてのキャリア形成を構築することができたか。 ②教員採用選考に向けて自己の実力を認識することができたか。		
受講資格	原則として、本学教職課程履修者の内、大学4年生、卒業生を対象とする。	成績評価 方法	平常点により「認」評価。
教科書	特に指定はしない。毎回、担当教員が適宜資料を配付する。		
参考書	『教育小六法』（最新版） 志望校種の『学習指導要領』		
学生への要望	本科目の受講をとおして各自の勉学の指針となるよう積極的に受講されることを希む。		
オフィスタイト	山本：月曜Ⅱ限（10:30～12:00）、月曜Ⅲ限（12:50～14:20） 関川： 難波： 菊池： 亀田： 富士盛： 折笠： 場所：それぞれの教員の研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション 4/11	授業内容の説明を聴く。教員採用の現状を知り、個別相談を受ける。 教職教養に関する出題想定問題を解き、自己の現状を知る。 担当：山本	90
2	面接と討論（入門編） 4/17	採用試験対策としての面接、討論の在り方の基礎を学ぶ。 個人面接、集団面接、討論について体験的に学ぶ。 担当：山本	90
3	小論文（入門編） 4/24	「小論文のポイント」を踏まえ、与えられたテーマをもとに、小論文を書いてみる。 担当：山本	90
4	教科別指導① 5/9	各専門教科において、現在、教育現場でなされている実践やカリキュラム等について幅広い知識を身につける。 担当：（家庭）難波、（栄養）菊池、亀田	90
5	教科別指導③ 5/15	各専門教科において、現在、教育現場でなされている実践やカリキュラム等について知識を深める。 担当：（家庭）難波、（栄養）菊池、亀田	90
6	教科別指導③ 5/22	各専門教科において、現在、教育現場でなされている実践やカリキュラム等について、これまで得た知識の理解をさらに深め、実力の向上を図る。 担当：（家庭）難波、（栄養）菊池、亀田	90
7	小論文（応用編） 5/29	前時に書いた小論文に関し、評価を受ける。 自己の教育に対する考えを、論理的にまとめる練習をする。 担当：関川	90
8	特別支援教育 6/6	過去問を解くことをとおして、知識の理解を深め、実力の向上を図る。 担当：山本	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
9	教育原理 6/12	過去問を解くことをとおして、知識の理解を深め、実力の向上を図る。主として、教育思想、教育史。 担当：関川	復習 90
10	教育法規 6/19	過去問を解くことをとおして、知識の理解を深め、実力の向上を図る。 担当：山本	復習 90
11	場面指導（入門編） 6/26	採用試験における場面指導の在り方を知り、自己の指導観を確認する。 担当：山本	復習 90
12	場面指導（応用編） 7/4	既に学んだ場面指導に関する基礎的理解をもとに、採用試験を想定した場面指導について、体験的な学びを通して、さらに理解を深め、具体的に対応できる力を身につける。 担当：山本	復習 90
13	教育時事 7/10	現在、教育現場で話題となっていることを知り、文部科学省の方針の理解を深める。 担当：山本	復習 90
14	個人面接 7/17	自己をPRする力をつけるとともに、採用試験に対応できる面接スキルが身につけていることを確認し、教職への意識をさらに高める。 担当：折笠、亀田、富士盛	復習 90
15	集団面接 7/24	グループで教育に関する課題について、ある結論を導き出す体験をおとして、他者と討議する力を高める。 担当：折笠、亀田、富士盛	復習 90